

# 『大秘密真言随持経十萬註』における2種の『大護明陀羅尼』について ——疫病消除説話との比較を中心に——

客員研究員 園田沙弥佳

## 【発表要旨】

『大護明陀羅尼』は五護陀羅尼に属する初期密教経典であり、その内容から大別して現在2種類の存在が確認されている。サンスクリット・テキストには世尊が疫病を鎮静させる場面が説かれており、『根本説一切有部律』や『ヴァイシャーリー・プラヴェーシャ』等との関連性が先行研究で指摘されている。一方、チベット語訳では独自の内容が説かれている。

『大秘密真言随持経十萬註』には上記2種の注釈が含まれており、章題に関連経典に関する語が見られる他、注釈対象経典の内容構成に相違が生じている。本発表では本注釈書の内容構成およびその特色について明らかにする。

※本研究はJSPS 科研費 JP19K12950の助成を受けたものである。